

2010～2011年度国際テーマのハイライト

希望の光

第一副会長のシッドL.スラッグス三世さん（次期国際会長）と元国際理事エド・マコーミックさん（DGEセミナー委員長）からメッセージが届けられました。

2010～2011年度、各地区は、人道奉仕における発展に向けて行動を起こすことが奨励されています。私たちライオンズは「希望の光」となり、「われわれは奉仕する」のモットーを「照らす」必要があります。近年の経済危機、そして世界規模の天災や人災の発生に伴い、「実地参加型」の奉仕がますます重要となっています。2010～2011年度は奉仕に力を入れる年度にしましょうと結ばれ、それぞれのテーマに「光」をあてて行こうというものです。

➤ 奉仕に光を

グローバル奉仕実施デー、奉仕の誓い、国際会長の奉仕のブログ、奉仕ニーズの調査

➤ PRに光を

奉仕と効果的なPR活動 希望の光アワード クラブに奉仕事業の看板を

➤ 会員に光を

会員に誇りを、奉仕事業の増加、奉仕はライオンズ、輝かしいスタート賞

➤ 青少年に光を

今日の若者を奉仕に関与させ引き込む、青少年大使、国際青少年音楽コンク、視覚障害を持つ青少年の作文コンテ

➤ 指導力育成に光を

ライオンズ基礎メンター・プロの推進奨励、クラブ役員・ZCの実務研修、オンライン情報の活用、ライオンズリーダーシップ研修会の開催と参加

➤ チャリティーに光を

LCIFの各種プロの理解と影響、献金の推進、LCIFコーディネーターと連携

以上を世界発信される予定です。

これを受けて、336D地区は、より一層「われわれは奉仕する」ウィーサーブの原点にかえり、地域とともにある「ライオンズクラブ」であるよう進めてまいりたいと思います。

2010～2011年度ガバナーメッセージ

地区ガバナースローガン

至誠にして 楽しく元気に We Serve

次期国際会長の国際テーマは「希望の光」を掲げられています。私たちが「希望の光」となり「希望の光」を持ち続けることを求められています。私たちは歴史を引き継ぐ使者であり、将来に向けて自信と誇りを持った開拓者でなければなりません。

そのためには、自分自身の生き方を誠実に生きていく、信念を貫いていく、人事を尽くす、という精神の基に生きて行きたいと願っています。

「至誠」は、孟子の言葉に、至誠而不動者未之不有也からきています。これは山口県が生んだ偉大な教育者「吉田松陰」先生の生き方や指導の根本理念にされた言葉です。

ライオンズのすべてのアクティビティや対人関係に至誠を持って進んでもらいたいという希望から冒頭に掲げました。

楽しく元気には、それぞれのクラブ例会や奉仕活動が、会員にとって地域にとって価値あるもの、喜ばれるもの、将来性のあるもの、やっけていて心が楽しくなるものであることを願って掲げました。

そしてそれらの活動がクラブ会員のよりよいチームワークを持って、元気に展開されることを願っています。

こうした価値ある活動や楽しそうで元気な活動は、周りから自然とライオンズクラブに親しみをもたれ、一緒にやってみたいという気持ちが生まれ、ひいては会員増強につながるものと信じたい。

総括スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

モットー

We Serve われわれは奉仕する

地区アクティビティースローガン

光と愛を

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。この言葉は、晴れて入会した時に同志の前で宣言する時の言葉によく用いられます。この誓いととも、7項からなる道徳綱領（略）は、初心として折に触れ、自らの今日の姿に照らし合わせて見直しや改善そして鼓舞していかれるよう説いていきたい。

ガバナー基本方針

- 1 国際会長のテーマに沿って「希望の光」を失わないよう、至誠を貫き、各事業に光を当てる
- 2 3年間の合理化特別委員会の協議事項を尊重し、具体化していく（別掲）
- 3 会員増強（家族会員・若年会員）、会員維持を堅持する
- 4 職務の鮮明化と新たな行動システムの構築（第一、第二副地区ガバナー、Z C、R単位青少年育成リーダー）

地区運営及び奉仕活動の重点

1 地区キャビネットのあり方

地区内ライオンズクラブの融和協調を図るとともに、ライオニズムを高揚するために、ライオンズ国際協会並びに336ガバナーズ協議会の基本方針に従い、336D地区の更なる発展を願い、地区内各クラブの情報を享受整理し、円滑な運営が図られるよう指導助言していく。

2 合理化特別委員会の成果を実現化する

過去3年間行われてきた、合理化特別委員会で所期の目的に一応の目途がついた。その成果を継続し実現化していく。(成果は別掲)

(1) 地区キャビネット運営の合理化・効率化

これまでの通り継続

(2) キャビネット財務の健全化

経費の節減をモットーに、キャビネット運営基金を増加していく

(3) ITの固定化

事務の合理化、キャビネットHP、PR情報、マンスリー報告などペーパーレス化を実施

(4) RCの廃止を受けて、第一、第二副地区ガバナーの役割の明確化、ZCの職務権限のあり方を整理模索する

(5) 各種会議の目的を明確化し、合理化を図る

名誉顧問会議・キャビネット運営懇話会・地区常任名誉顧問ZC会議など

3 奉仕活動の継続 見直し 改革

ライオンズの原点は、奉仕活動にある。現在それぞれのクラブが実施している奉仕活動(アクティビティー)を、さらに継続するための方策、あるいは見直しをはかる方策、新たに地域の要望から来る奉仕活動の展開など、それぞれのクラブにおいて再考してもらう。

4 会員増強、会員維持 増やせども減らさず を継承

過去5年のデータからみて、336D地区の会員の減少はクラブの解散とともに著しい数字が挙がっている。

これは、当地区に限らず日本全国そして世界の各国で起きている現象であるが、だからと言って安穩としてはいけぬ。

ライオンズクラブを広く認識してもらい、一人でも多くの同志を迎え入れてもらいたい。

- (1) 会員指導力育成委員会は1～3R、4～7Rに委員長を一人ずつ置き、それぞれの行政区で地区委員7名とともにその職責を果たしてもらいたい。
- (2) 特に家族、若年者、女性にターゲットを当て、会員として迎え入れクラブの活性化を図っていく。
- (3) MERL委員会の報告を受けて原因と対策を明確化していく
公式訪問時懇話会の開催、ボランティア総合評価制度の普及 地区委員の引き継ぎ 年度末ドロップを防止 MDが作成した新入会員研修を実施

- (4) 会員の純増目標は

会員30名以下の	クラブは1名以上の増を目標
会員31名～50名の	クラブは2名以上の増を目標
会員50名以上の	クラブは3名以上の増を目標

＜ 目標達成の単純計算 ＞

30名以下のクラブ数	50クラブ	50名
31～50名のクラブ数	42クラブ	84名
51名以上のクラブ数	10クラブ	30名
	合計	164名

5 青少年健全育成

《ライオンズクエスト》

- (1) 青少年にライフスキルを

この事業はLCIFの支援金を受けて実施している大きな事業です。このプログラムは思春期の少年少女に生きる力(ライフスキル)を身につけさせる教育プログラムです。われわれメンバーが教壇に立って教えるのではなく、特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラムの普及活動を支援し、上からの押し付けではなく、教師と生徒が共に考え試行錯誤しながら、生きる力を

身につけて行く認定講師を提供する団体の支援です。

2010～2011年度から更なる活動を推進していくために、青少年健全育成委員を各リジョンに1人ずつ新設し拡充を図りたい。

(2) モデル校の設置

前年度から引き継ぎ、特に今年度は更なる発展を目指し1～3Rに1校4～7Rに1校設置し、ここを拠点として教育に改革を起こす。これには教育委員会の理解と学校長の理解、教員の参加が必須条件で、多くのハードルはあるが進展を図っていききたい。

《 薬物乱用防止教室 》

平成22年3月25日 警察庁刑事局組織犯罪対策部長から、中学生及び高校生対象の「薬物乱用防止教室」を全国展開していく。その際ライオンズクラブ会員の薬物乱用防止教育認定講師の派遣協力依頼があった。このことから、認定講師の更なるレベル向上と標準化を図る必要があると判断される。

今後、キャビネット内に薬物乱用防止委員会(未定)を設置し、全面的に協力できる体制づくりをしていく方向にある事を認識する。

これらのことを考え、これまで通り薬物乱用防止教育認定講師の養成講習会の開催、中学高校への「薬物乱用防止教室」の展開を推し進めていききたい。

(3) 青少年健全育成寄金のお願い

各クラブが設立されて、周年行事が展開されます。ライオンズでは金額の多少を問わず周年事業の中に、青少年健全育成基金への寄付をお願いしたいと思います。

6 「献眼・献血」推進 “人から人への愛のプレゼントを”

地区アクティビティスローガン「光と愛を」にもあるように献眼運動はライオンズクラブの奉仕活動の主要テーマです。今年度も積極的に献眼登録を推進していくと共に、献眼発生時の迅速正確な対処をはかる事の理解を深めていきます。一人でも多くの人に光を与える為に、研修会の開催も行っています。(角膜移植 腎臓移植 骨髄移植等複合バンク)

献血においては、ライオンズクラブは世界でも有数な献血推進団体としてこれまで素晴らしい協力と活躍がなされてきました。これまで通り献血活動は推進していくことと、献血活動がまだ停滞しているクラブにおいては、積極的に取り組まれるように啓もう活動をしていく。

「人間を救うのは人間だ」の合言葉を推し進め、会員自らも献血できる健康体を維持して参りましょう。(献血検査時に糖尿病検査も同時にできます)

7 LCIFへの寄金推進

LCIFはライオンズ国際財団と称し、寄付を受けた基金を運用して、大災害や緊急事態の救済その他世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする財団であります。

LCIFへの寄金は 一人当たり20ドル以上を目標に

MJF への寄金は、有志によりますが何かの記念に行ったり1名でも2名でも多くの方をお願いしたいと思います。

寄金1回1,000ドルが単位です。

LCIFの交付金の活用については、クラブが理解を深めると共に、D地区内からLCIFの助成金を獲得できるアクティビティを申請できるように取り計らいたい。(視力保護 障害者援助 健康促進 青少年奉仕)

8 PR広報活動

広報活動は、会員及び地域社会に対してライオンズの奉仕事業や活動を推進し、ライオンズ国際協会に関する情報を広め協会のイメージ高揚に努めることとあります。

地区PR委員長はあらゆるプログラムが正しく広報されるよう、各委員長と密接に連絡を取り、協力していかなければなりません。

ITの固定化もあり、インターネット活用による情報のインプットや収集も簡単にできるようになりました。

各クラブ事務局においてもクラブ員各位においても、広くご理解を頂き上手な活用をお願いします。

なお、獅子吼については、年間6回の発行を考えております。

9 YE事業

ライオンズクラブのYE事業(交換留学)は、世界のライオンズネットワークで行われており、交流により国際的視野を深め、世界平和に貢献できる青少年健全育成を目的としているものです。ライオンズクラブの大きな事業の一つでもありますので、今年度も積極的に推進していきます

受け入れについての経費は、ゾーン単位で共通認識をはかっていきたい。

10 平和ポスターコンテスト

国際平和ポスター・コンテストは11歳～13歳の生徒を対象に、毎年ライオンズクラブ国際協会にスポンサーされて実施されます。ライオンズクラブは地元の学校又は青少年組織団体でコンテストをスポンサーすることができます。一つの学校につき、1点の入賞作品が選ばれます。各学校のコンテストの入賞作品は次のレベルの審査(地区 複合地区 国際のレベル)に進みます。地区ガバナー及び(又は)平和ポスター委員長が地区を代表するポスターを1点選びます。地区ガバナーは複合地区レベルでのコンテストに出店するために、地区の最優秀作品を複合地区協議会長に提出します。

国際入賞者はライオン誌及び国際協会のウェブサイトで発表されます。

11 奉仕デーの活用

10月8日は世界ライオンズ奉仕デー(World Lions Service Day)です。これは1917年ライオンズ国際協会の第1回大会が、10月8日に開かれたのを記念して実施されるものです。各クラブではこの日に、記念事業や奉仕活動を積極的に推し進めてもらいたいと思っています。

クラブ運営について

1 会長のリーダーシップ

クラブ運営はすべて会長のリーダーシップにかかっているといても過言ではない。クラブによって多少違うかもしれないが、会長は就任する前には、第一副会長として理事構成員になりながら、自らの会長時代にどのように進めていくか研修を積む。

会長は、多くのクラブ員を代表するトップであることから、任期中は責任を持ってクラブ運営をリードしていかなければならない。

地区ガバナーの方針、クラブ会長の方針、地域の要望など多様に求められる課題に、いかにこたえていくか日々自問自答していきながら進めてもらいたい。

そのためにP D C Aのシステムを何事においても取り入れてもらいたい。

P : プラン 計画 夢、希望、想い → 机上プラン (たたき台) → 理事会 実行計画 → 例会 (伝達 依頼 PR)

D : ドゥー 実行 役わり分担 → 実行後片付け

C : チェック 評価 反省点 (良い点 悪い点 課題) → 自己分析他者分析

A : アクション 次への進展 → よりよきものへと成長する

このP D C Aを繰り返し進めると、より一層リーダーシップが発揮される

2 例会

クラブの最高議決機関であることから、例会出席は重要な義務となります。クラブ例会は少なくとも月2回は開くよう推奨されています。

例会を開く前に必ず理事会を開催し、大筋を決めて行きます。

会長はチャーターナイト記念会等含めた、年間例会計画を入念に立てる必要があります。(家族例会 食事例会 卓話 花見 花火 クリスマス 誕生日 他)

日時 場所 内容など会員に周知しておく必要があります

100%出席が望ましい事ですが、やむを得ず主席が叶わない時はメイクアップを設ける事が出来る。(他クラブ例会出席 行事出席を例会と認めるとき 他) 例会に臨む時には、バッチ L必携持参 が望ましい

3 奉仕活動

各クラブの特色ある奉仕活動 (アクティビティ) が、クラブの伝統を築き、会員の励みにもなります。ボランティア活動が、ライオンズの原点と考える。

各奉仕活動をもう一度見直し、本当に今のままでよいか、新たな取り組みをするならばどうしたらよいかなど、奉仕活動に更なる工夫をこらしてもらいたい。